

建設防災 ボランティアニュース 第 80 号

目次

- ・ 25 周年記念式典・定期総会
- ・ リーダー・サブリーダー会議
- ・ 砂防講習会・ミニツアーの報告
- ・ 北北建班・南東建班の報告
- ・ 徒歩点検報告
- ・ 新入会員の紹介

開催！ 設立 25 周年記念大会と

令和 5 年度定期総会

新型コロナ感染拡大の影響で、令和 3 年度から書面決議が続いていた定期総会が、ようやく 3 年ぶりに開催されました。併せて昨年度開催される予定であった「設立 25 周年記念大会」も、1 年遅れで開催することができました。

好天に恵まれた 5 月 31 日(水)、大会と総会は例年と同じ道路整備保全公社 17 階の大会議室で、79 名が参加して行われました。続く懇親会は都庁の食堂が使えないため、近くの新宿エステック情報ビル 4 階の「Y'S(ワイズ)」で、69 名の会員が参加して久しぶりの交流を楽しみました。

設立 25 周年記念大会

大会は 2 時から、高橋理事の進行で始まりました。山口会長の冒頭の挨拶に続いて、お忙しい中、御来賓として駆けつけていただいた、中島高志東京都技監(建設局長兼務)、三浦隆道路整備保全公社理事長、矢岡俊樹東京都公園協会理事長より、それぞれに 25 年間の協会活動に対してのねぎらいと感謝、そして今後の一層の協力と発展を願うご挨拶を頂きました。また各組織の現状や課題、今後の展望など、非常に有意義なお話も伺うことが出来ました。



御挨拶される中島都技監

特に中島都技監からは、来年 1 月の「感謝の会」をぜひ開催したいとお話もあり、楽しみがまた一つ増えることとなります。

続いて新井副会長から、今回新たに作成した冊子「25 年のあゆみ」を用いて、25 年間の活動を振り返りました。令和 3 年度の活動が徒歩点検のみとなり、また大会の開催が 1 年延びたことにより、この冊子が実質 26 年間の記録になったことなど、コロナ禍の影響を大きく反映した報告でした。

続いて、25 年継続会員である、織田和俊、熊谷武志、小柴昌幸、武内利夫、市村寛、栗田則男の各氏が紹介され、出席されていた小柴さん、栗田さん、市村さんに感謝状が贈呈されました。



小柴さん 市村さん 栗田さん

代表して小柴さんがご挨拶に立ち、六建管内で実施された平成 18 年度の総合防災訓練で、都立舎人公園で行われた大掛かりな道路障害物除去訓練に参加した思い出等を述べられ、ボランティア活動への思いを新たにしました。その後大会は 2 時 40 分に終了しました。

令和5年度定期大会

暫しの休憩後、3時から高橋理事の司会進行で定期総会に移りました。

冒頭山口会長から「協会の高齢化が進んでいるが、今年度は14名の入会があり喜ばしい、組織の運営には多くの会員が必要であり、コミュニケーションをとって運営していきたい」との挨拶がありました。



挨拶する山口会長

続いて、藤田進さんを議長に選任し、令和4年度事業報告を佐野理事が、令和4年度収支決算報告を細川理事が説明し、野村監事の会計監査報告を受けて、会員の拍手により承認されました。

次に令和5年度の事業計画（案）、収支予算（案）について、それぞれ新井副会長、細川理事から説明があり、拍手による賛成多数で承認されました。

また今年度は役員改選期であることから、山口会長の再任が提案、承認され、副会長以下新任の島津哲也さん、西村行正さんを含む10名の理事が承認されました。

続いて事務局書記が紹介されました、今年度は公園協会の久間亜紀さん、道路整備保全公社の幡谷敦子さん、川久保和子さんに担当して頂きます。よろしくお願いいたします。



川久保さん

幡谷さん

久間さん

議事終了後、これまで協会活動に貢献されてきた以下の方々（敬称略）に、山口会長から感謝状が贈呈され、また新入会員の紹介、挨拶等がありました。

ありがとうございました！

- 年間10回以上活動会員
高尾弘幸（活動回数10回）
- リーダー交代者
一建サブリーダー 平田忠夫
北北建リーダー 藤井賢介
北北建サブリーダー 飯塚正憲
南西建リーダー 老沼宏二
- 20年継続会員
小島信之、篠原憲一、高橋好弘、堀内康彦
- 15年継続会員
海老澤義秀、新川彰、林健一郎、藤田進、藤井賢介
- 10年継続会員
佐々木泰実、鈴木進、多澤秀信、宮良眞、林銃太郎、舛原邦明、村尾公一、吉原一彦

よろしくお願ひします！

- 新入会員
原島孝至、小川和雄（以上令和4年度入会）
片岡正英、根津和近、岡村浩志、奥山美晴、
斉藤俊之、水内満寿美、橋本一郎、中尾信行、
大内弘、高橋宏彰、細岡晃、菅谷正志、
菊地正芳 地引尚治（以上令和5年度入会）

懇親会

懇親会は、佐藤副会長の進行で、新井副会長の挨拶、乾杯から始まり、大いに盛り上がりました。3年ぶりの懇親会であることに加え、新会員が多くなったこともあり、昔話や互いの近況を語るなど、あちこちで談笑の輪を咲かせて楽しい時を過ごしましたが、予定時間の7時が近づいて東野寛さんの三本締めでお開きとなりました。参加された会員の皆様、ありがとうございました。

担当理事 林幹生



乾杯



根津さん 池田さん 東野さん 内野さん



若林さん 宮良さん 岡村さん 柴田さん 若尾さん



井上さん 奥秋さん 大八木さん



藤野さん 小林さん 相場さん 古川さん 船山さん



橋本さん 幡谷さん 東さん



高橋さん 片岡さん



締め挨拶をする東野さん

総会に出席しました！ 楽しみです！！

今年度より入会させていただきました岡村でございます。



今年3月に土木技術支援・人材育成センターを最後に定年退職し、4月から鉄建建設(株)で働いております。

「南東建」には、平成15年度から4年間、係長として勤務していました。また、管理職になってからは、平成23年4月から2年間、多摩市役所に赴任していました。この度、思い入れと愛着のある南東建班に入れていただき、大変感謝しております。

現職時には、防災ボランティア協会の諸先輩方の献身的な活動に助けていただきましたが、これからは本協会の一員として微力ながらお役に立てれば幸いです。

併せて、勝鬃橋のツアーガイドにも登録し、早速、5月下旬に現場デビューをさせていただきました。当日は十名余りのお客様をご案内しましたが、とても熱心に説明を聴いて下さり、たくさんの質問を頂戴しながら対応するなど、緊張感の中にも楽しく貴重な経験をすることができました。改めてインフラツアーへの関心の高さと、当協会の活動の幅広さを知ることができました。

また、去る5月30日の総会・懇親会では、諸先輩方と接する初めての機会となりましたが、(現役時代と異なり…?) フランクにお話をさせていただき、一員となったのだ、と実感しました。この明るくオープンな雰囲気が当協会の強みであり、25年以上の歴史の積み重ねを支えているのでしょうか。

これからは、徒歩点検を手始めに、南東建での活動が主体となってまいります。自宅から町田まで約10kmの道のりなので、暇な時に一度歩いてみようかな…とも思っています。

緊張感を持ちつつも、楽しみながら活動をさ

せていただきたいと考えています。

どうぞ宜しくお願いします。

南東建班 岡村浩志

リーダー・サブリーダー会議開催

今年度の最初の活動として、リーダー・サブリーダー17名と会長を含めた理事16名が参加して会議が開催され、理事からの今年度の活動についての報告とお願い、質疑応答が行われました。会議終了後は各リーダー・サブリーダーに今年度の事業計画を各事務所に届けていただきました。今年度もよろしくお願いいたします。



新しくリーダーに就任された南西建班の大八木さんに会議の内容をまとめていただきました。ありがとうございます。

日時:令和5年6月7日(水)14時～
場所:道路整備保全公社17階A会議室
○次第1 理事及びチームリーダーの紹介
○次第2 新規入会会員について

- ①今年度の新規入会員は14名。年度途中でも勧誘をよろしくお願いいたします。
- 次第3 各行事の予定等
 - ①今年度の合防災訓練は9月初旬に東村山市で実施の予定。北北建班、西部公園班のご協力をお願いしたい。今年度は先手、先手で調整し、情報を提供していきたい。
 - ②道路施設点検については、前期は6月9日～8月9日の実施で調整していただいている。よろしくお願いいたします。後期は10月～12月上旬の予定。

- ③ 初動対応訓練は、例年 12 月頃文書をいただき、実施調整となる。ただし今年度の実施は未定。
- ④ 河川愛護月間行事のうち「川を歩こう」は、猛暑の中から時期をずらして 10 月中旬実施予定。なお「旧中川」は今年度から正式に参加。
- ⑤ 同「環七地下の巨大トンネルを体験」は 7/22 に開催予定。
- ⑥ 同「野川のちびっこ先生集まれ！」「夏季 野川・生きもの観察会」は応援依頼なし。
- ⑦ 同「わくわく川掃除&川遊び (7/23)」は北北建からの連絡待ち。
- ⑧ 同「夏休み多摩川教室 (7/2、7/28)」と「川のパネル展 (9/5~7)」は、担当理事から全会員に応援依頼を予定。

○次第 4 活動報告書について

○次第 5 緊急連絡表の作成について

○次第 6 その他

- ①施設見学会は四建の石神井川調節池等を 11 月上旬に予定調整中

南西建班 大八木猛

久しぶりの砂防講習会です

砂防講習会はこれまで講習と現場見学を隔年で実施してきました。この 3 年はコロナ禍により見送ってきましたが、久しぶりに令和 5 年 3 月 9 日(木)、西建管内において砂防現場見学会を開催することができました。

当日は快晴かつ温暖(22℃)な気候に恵まれ、河川部や西建経験者などの 13 名の会員が参加しました。西建の高橋所長さま、浅見課長さま、落合課長代理さまには、下打ち合わせから現場説明まで丁寧な対応を頂き感謝の念が尽きません。ありがとうございました。

担当理事 高橋紀男

砂防ダムと急傾斜地事業を見る

見学場所は前回の見学会(平成 29 年 12 月 13 日)では施工中であった「海沢(うなざわ)川砂防ダム」と「青梅市河辺(かべ)地区急傾斜地事業」

の 2 か所が予定されていました。

12 時に都庁前を貸し切りバスで出発し、トイレタイムは白丸ダム駐車場(気温は 20℃)に立ち寄り、事務局からは行程等の説明がありました。海沢川の現場には予定の 14 時に到着しました。



「海沢川」の現場では、西建の高橋所長、浅見工事第二課長、落合統括課長補佐、北浦課長代理の皆さんに対応いただき、高橋所長から所の概要、会員の皆さんへの日ごろの感謝、今回の見学会が一助になれば幸いとのこと挨拶を頂きました。

浅見課長からは、事業着手(平成 23 年 12 月)から完成(令和 4 年 7 月 29 日)に至る詳細な説明がありました。着手前は、川の周辺は杉林であったとのことですが、砂防指定を行い、搬入路を整備し、本体工事となる鋼製パネルの堰堤、多孔質ブロックの流路、コンクリート橋梁を含む管理用通路等を整備した今の姿をみると、往時を想像することはできませんでした。全体事業費は約 5 億円、堰堤には三宅島など島しょでも実績のあった「ダブルウォール工法」を採用し、高さ 9.5m、堤長 71 m、土砂のかん止量は約 1 万 m³で、見た目も草木が表面を覆い周りの景観にマッチしている印象でした。なお、橋梁を含む管理用通路はすでに奥多摩町に移管済みで、除石作業時などに利用しているとのこと。

過去の業務経験から専門的な会員も多く、職員の皆さんと忌憚のない質疑や意見交換が交わされていました。OBとなった今でも、“都民の生命と財産を守る”との防災に対する熱き思いが沸き

上がるのではないのでしょうか。

次に、予定されていた「河辺(かべ)地区急傾斜地」(多摩川左岸の崖上にある民家12戸、集合住宅2棟を守るための法枠工主体の事業、事業費は約4.5億円、完成予定は令和5年度)については、移動時間の制約を受けることに加え、法定で運転手は4時間に30分の休憩を取る義務など、時間の都合により現地での説明は急遽中止となりました。私など多摩の会員は「青梅駅」で、他の会員は新宿(17時前に到着)での解散となりました。当日は、WBC日本代表の開幕戦(二刀流大谷選手の先発・DH)であり、楽しみにしていた会員にとっては、自宅でゆっくり観戦を楽しむことができたのではないのでしょうか。



次回の開催に当たっては、コスト増や事務所に負担をおかけすることになりますが、前回のように、昼食を挟み午前、午後の見学ができるような行程を検討いただけると幸いです。

改めまして、急遽の行程変更でご迷惑をおかけしたにもかかわらず、柔軟に対応してくださった高橋所長はじめ西建の皆さんに深く感謝いたします。

北南建班 舛原邦明

初めての経験！ミニツアーの説明

4月13日、勝鬨橋ミニツアーで初めて「説明」を担当しました。防災ボランティアに入会し、勝鬨橋ミニツアーのメンバーに加わってから4年目にして初めての経験です。

私が入会した時点では、勝鬨橋の補修工事の

ためミニツアーは休止中で、代替の隅田川著名橋ツアーの案内が実施されていました。補修工事完了後も新型コロナ禍の影響で、ようやく今年(平成5年)の1月より再開。その再開第1回1月13日にツアーの案内に初参加、第二回目の4月13日に説明を担当することになりました。



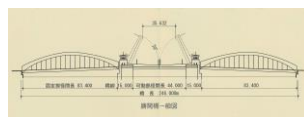
当日の見学者は男性6名女性2名の計8名。ガイドブックに則り、挨拶から始まり、DVD視聴、館内の模型で案内場所の説明、文化財3橋の説明と順調に進み資料館の外へ。橋台敷で記念碑の説明のあと、自転車の通行が多い中を、注意しながら信号待ち位置の鉾、シャーロックと進み、バルコニーへとたどり着く。運転室の見学後、スカートの女性がいるため昇降の順番に配慮し垂直梯子、階段を使い機械室へ降りてもらう。

機械室で開閉機構等の説明を行い、上流側階段でトラニオン軸等の見学を経て地上へ。最後に資料館まで誘導して解散。事前に考えていた説明事項を話すのを忘れてしまったり、メットフォンのマイクを切れたままにしておいたりという失敗はあったものの、班の皆さんのフォローのおかげでツアーは無事終了。

ツアーの再開にあたり配布された勝鬨橋ミニツアーガイドブックを繰り返し読んでいたのですが、実際に担当してみると、中々思うようにはできないものだと痛感しました。見学者の方からの質問が少なかったのも、十分に説明ができていなかったためではないかと感じられます。

今後は、今回の経験を踏まえて、諸先輩のように見学者の方のニーズに十分応えられるような案内ができるよう、自分なりのスタイルを作っていきたいと考えています。

五建班 杉橋要



北北建班 3月定期総会を開催

新型コロナが蔓延し始め早3年が過ぎました。その間、建設事務所の防災訓練や徒歩点検などが中止となり、それに伴い北北建班の活動も縮小せざるを得ませんでした。

そうした中においても、令和2年度は春と秋の徒歩点検の依頼が北北建からあり、延べ10名の班員が参加しました。



例年に比べ依頼人数は絞られましたが、久しぶりにボランティア活動ができる喜びを感じることができました。

北北建班では、このようにボランティア活動が縮小された中においても、定期総会(6月、3月)を開催し班員相互の親睦と情報交換を図っております。

メンバーは、班員12名、顧問2名の計14名となっており、年齢構成は62歳から86歳と多岐にわたっております。その内、9名が建設会社などに勤務しております。

それでは、3月に開催しました総会の内容を紹介します。

総会は北北建のある立川で開催しました。

議題は、これまで長年リーダー、サブリーダーを務めて頂きました、藤井さんと飯塚さんの退任決議と新たなリーダー等の選任を行いました。

新たなリーダーは江澤直人、サブリーダーは奥秋聡克に決まりました。来年度からよろしくお願

いいたします。

また、今年度末で退会する班員の慰労会を別途開催することを決めました。

総会後は、有志による懇親会へと移り、全員から近況報告がありました。話題の中心は高齢者が多いことから凄惨な病歴の数々や健康管理の話が多く、いかに加齢に負けずに元気に過ごしていくかでした。毎回参加して頂いている80代の班員の健康管理の話は含蓄があり、是非見習いたいと感じました。

このように北北建班は懇親と親睦も大切にしており、班員はメンバーが集う総会の日を楽しみに、当日は早く夕方にならないかと心待ちにしている方も多くおります。それだけ班員相互のきずなが深い証であると思います。

そんな魅力のある北北建班で、是非一緒に活動しませんか。新規入会者を班員一同お待ちしております。

来年度は、コロナもインフルエンザと同類になることから、3年ぶりにボランティア活動も活発になってくると思います。メンバー一同健康に留意し、より一層ボランティア活動と懇親に励んでいきたいと思

北北建班 江澤直人



南東建班 街路事業を視察

令和5年3月1日 南東建防災ボランティア(以下敬称略:武内、織田、原田、杉本、矢内、丸岡、佐々木、若尾、柴田の9名)は南東建事務所の絶大なるご協力、ご支援のもと、町田3・3・36号線(旭町)事業(町田市民病院前交差点~鎌倉街道交差点。延長約800m、幅員25mの街路整備)の現場視察を行いました。この日は温暖な晴天に恵まれた絶好の視察日であり、日頃からの参加関係者の行いの良さが実証されました。

当日、参加メンバーは午前10時までに南東建事務所1階ロビーに集合し園尾所長の丁寧なご

挨拶を頂いた後、午前 10 時に所のバスにて現場まで向かいました。現場到着後、小野寺副所長からご挨拶をいただいた後、島野尾根幹線整備担当課長から本事業の概要説明(当路線は将来多摩モノレールの導入空間となる計画。幅員 25m のうち車道、歩道部を除いて中央部に多摩モノレールの支柱が整備できる空間を考慮し道路断面構成がされている。橋梁部では上り側と下り側の橋梁の間に3mのモノレール支柱設置幅を確保。平成 19 年度事業認可取得後整備推進している等)をして頂きました。



次いで、工事概要等について速永課長代理、武田主任から説明を受けた後、起点側から終点側に向かって現場視察に入りました。出発して直ぐに橋梁(橋長:132m。4径間のPCポストテンション桁を採用。福島県の工場で作成した桁を 5 分割にして当該現場に搬送。これらの分割桁を当該現場内構台において 1 本の PC 桁に製作。これを送り出し工法により現地橋台上に架設し漸次、橋梁桁を製作。桁間は工場製作の床板を張りこれを型枠代わりし、コンクリートを打設し橋面を仕上げた)区間となり、橋梁下や周辺地域が住宅地という橋梁は建設局においても珍しいものである。

特に橋が架かる周辺地域が郊外型の良好な住宅地であり、域内の小川の竹藪にはカワセミも飛来するという優れた環境の地域である、といったお話を小野寺副所長から伺いました。また島野課長からは事業化になってから、周辺住民からの苦情はこれまでに 1 本も受けていない等のお話も伺いました。真に、所の工事関係職員をはじめ施工会社関係者の日々のご尽力とご対応が優れていることを如実に示していると痛感しました。

再び視察に戻りますと、橋梁の欄干には周辺環境に配慮し目隠し板が設置済みであり、橋梁部にはゴム製のエキスパンション(約1m)や橋面にはアスファルト舗装も整備済みでありました。橋梁部を過ぎると、沿道には住宅、アパート、畑等もある地域であり、畑には紅白の梅も見事に咲き誇っており、視察関係者の皆様も一瞬、春を感じる時を過ごしました。

さらに現場内を進むと周辺地域の交差道路に出ました。一部には過去の先行工事により整備している下水道のマンホール部がいくつかありました。更に現場を進むと沿道居住者ための車の仮駐車場及び出入りの通路もあり、工事中も沿道住民の生活への配慮をしながらの施工など、大変な気遣いの中で所工事関係者の皆様もご苦労されている様子をみる事ができました。

その後、少し高くなった箇所に出ると地域の交差道路に出ました。この辺りは西側には大山はじめ丹沢連峰がかすかに眺めることができる場所であり、沿道地域の道路が交差していました。武田主任からは「当該道路箇所は将来、横断歩道のみの設置を予定している。また、北側部の整備済みの供用区間に向かって真ん中に中央分離帯の設置が街路工事として今後実施予定である」との説明がされました。



この交差道路を視察後、折り返して、起点側に向かって戻って行きました。戻る際には、当該道路整備区間の比較的近くに居住している原田さんや杉本さんからは、地域の住民の皆様が「いつ整備完了し、開通するのか」を楽しみにしているという地元の生のお話を直接、所の関係職員の皆

様にお話しされていました。

その後、起点部に戻ってから、全員で記念撮影をしてから、本日も案内をいただいた小野寺副所長、島野課長はじめ南東建工事関係者の皆様に対して、ボランティア一同から御礼の拍手をお送りし感謝の気持ちと早期の整備推進にご期待している気持ちを示させていただきました。

この後、所バスにて事務所まで戻り所関係者へのお礼の挨拶を行い、帰路につきました。途中、いつもの場所にて、本日の視察を肴に参加されたボランティア有志により柴田リーダーの乾杯の発声後、昼食懇親会に入り皆様に懇親を深め、午後2時頃に若尾副リーダーの締めをもって解散となりました。

末筆で恐縮ですが、本日の現場視察をしていただいた南東建・園尾所長、小野寺副所長はじめ、島野課長、速永課長代理、武田主任の所関係者の皆様に心より、感謝申し上げます。併せて、ご参加の皆様、お疲れ様でした。

南東建班 柴田賢次

南西建班 徒歩点検

南西建班から徒歩点検の写真が届きました。徒歩点検は、会員がまとまって活動していない事務所も多く、報告が難しい活動ですが、少人数の写真でも構いませんので、どしどし投稿してください。



令和4年度2回目の点検



大八木新会員を迎え南西新庁舎前で

南西建班 中込孝仁

南東建班 徒歩点検

12月14日、南東建防災ボランティア(以下敬称略。武内、織田、原田、杉本、矢内、丸岡、大坪、佐々木、若尾、柴田。以上フルメンバー10名)は令和4年度第2回道路徒歩点検を実施しました。

当日は、前日の氷雨模様とは打って変わり、点検日に相応しい好天のもと南多摩尾根幹線(大妻女子大前交差点から多摩卸売市場前交差点迄の3.4km区間)について点検を実施しました。朝8時45分に事務所に集合し園尾所長、小野寺副所長、小池補修課長、島野南多摩尾根幹線工事担当課長等のご列席のもと、代表して園尾所長から「日頃の活動への感謝と安全に十分注意し実施いただきたい。」とのご挨拶をいただいた後、中曽根統括課長代理から本日の点検コース等について説明していただきました。

9時10分過ぎに事務所のバスにて、本日の点検個所である尾根幹線の現場に向かいました。9時30分頃、本日の出発地となる鎌倉街道との交差点にあたる多摩卸売市場前交差点に到着。現地集合の一人を加えここを出発点(起点である大妻女子大学前交差点からみて右側をR班、左側をL班)にR班(ボランティア:武内、原田、大坪、佐々木、若尾。所側:中曽根統括課長代理、井川主事の計7名)とL班(織田、杉本、矢内、丸岡、柴田。所側:小池課長、大西主任の計7名)に分

かれて尾根幹線の広幅員道路(標準幅員:43m、幹線道路交差部幅員:58m。)をR班が南側歩道、北側歩道をL班が点検しました。



日頃から、南東建補修課関係者のご尽力により適切な保全管理等がされているため、それほど多くの指摘事項はありませんでしたが、若干の雑草等の越境や路面の凹凸箇所等について指摘させていただきました。点検途中では所の工事課関係者のご努力により鎌倉街道との立体交差化工事の下部工工事が施工中であり今から完成が楽しみであると思えました。

また、沿道の土地利用が尾根幹線の整備とも相まって、かなり進んでおり多摩ニュータウンの重要幹線に相応しい街並み形成が整いつつあるのを感じました。さらに、尾根幹線の西側奥手には、富士山の前衛にあたる丹沢の山並みが綺麗に望め一服の清涼剤となりました。

出発してから、途中にかかる各種のデザイン等の工夫がされた歩道橋や沿道施設の整備のエピソードなどを思い出しながら点検を進めた結果、あっという間に本日の終点付近である大妻女子大前交差点に無事到着しました。

ここで、R班とL班が合流し全員で集合写真を撮影し、11時20分頃、本日の無事の終了を確認した後、近隣施設の駐車場から所のバスにて事務所に11時45分頃戻りました。帰所後、小池補修課長、中曽根統括課長代理さんらへのお礼の挨拶を交わし11時55分頃帰路につきました。

途中、有志8人により、いつもの場所において昼食懇親会を行い会員相互の交流促進等を図り

ました。この会の締めには若尾副リーダーの掛け声で今年1年の活動について中締めをし、結びには杉本さんによる珍しい5本締めによりすべての予定が終了となりました。末筆で恐縮ですが、今年1年園尾所長様はじめ、南東建の関係職員の皆様には衷心より感謝申し上げます。また、本日、ご参加いただいた会員の皆様、大変お疲れ様でした。来年もよろしくお願いいたします。

南東建班 柴田賢次

新入会員の自己紹介

今年度は新たに14人の新入会員を迎えました。例年より非常に多く、協会の活性化が期待されます。自己紹介をお願いし、今号に間に合った方々です。

橋本一郎さん・・・若手の機動力を発揮したい



今年度から当協会に入会させていただいた橋本です。令和2年度末に道路建設部道路橋梁課を最後に定年退職し、2年間の東京都道路整備保全公社建設課勤務を経てこの4月から北野建設(株)に勤めております。

当協会の皆様には特に二建補修課長や道路管理部保全課に勤務した際、道路施設点検や道路啓開訓練などで大変お世話になりました。これからは自分もその一員として活動することとなり身の引き締まる思いです。

最近では日本全国で地震が頻発しています。配属は一建班になりましたので、いざと出勤いう時には若手として機動力を発揮し少しでもお役に立てるよう精進していく所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

また、現在勤務している北野建設(株)には前任者がおらず、手探りで取り組んでいる状況ですので、協会活動以外でもご指導いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

一建班 橋本一郎

齊藤俊之さん…経験をいかして役にたちたい

今年度から当協会に入会させていただきました齊藤です。河川部を最後に定年退職し、4月から西武鉄道(株)に勤めております。



西建時代、令和元年台風19号による災害復旧では、自然災害の脅威について身をもって経験いたしました。

今後、高い確率で発生するといわれている首都直下地震等の災害に備え、これまでの経験をいかし、少しでもお役に立てるよう努めてまいります。

コロナ5類以降、外国人旅行者が再び多く見られるようになりました。外国人旅行者に負けないよう、私も国内外問わず観光機会等を増やし、防災事例なども直接見ることができればと考えています。有事の際には四建班の防災ボランティアとして、都の応急復旧業務の支援を行い、被災地への救援活動等貢献したい。

四建班 齊藤俊之

菅谷正志さん…管内の地理にも詳しい

今年度から入会させていただきました菅谷です。



私は、今年3月に建設局道路管理部を最後に定年退職し、4月から調布市に本社のある巴山建設(株)に勤めています。当社は、多摩地域の道路や河川等の整備を行っています。

私は、これまで、主に区部のインフラ整備に携わってきましたが、今は、緑豊かな多摩地域の魅力を日々感じながら仕事をしています。

さて、参集事務所は、第五建設事務所になりました。当事務所には、かねて勤務した経験があり管内の地理にも詳しいことから、いざという時には、諸先輩方と連携しつつ微力ながら災害対応等に尽力できればと考えています。

今後とも、ご指導の程、どうぞ宜しくお願い致します。

五建班 菅谷正志

細岡晃さん…経験を活かし貢献したい

R5年度より入会いたしました細岡と申します。



入会のご挨拶に代えて、先日出向いた仙台市の「震災遺構 仙台市立荒浜小学校」の報告をさせていただきたく思います。5月24日、仙台市青葉山公園にて開催された全国都市緑化祭に参加した後、若林区の荒浜小学校に向かいました。

荒浜小学校は、2011年3月11日の東日本大震災の際、校舎二階まで津波が押し寄せ、大きな被害を受けた校舎を震災の遺構として保存するとともに、災害への備えを訴える臨場感ある展示が用意されている施設です。



「避難の丘」から荒浜小を望む

教室で上映されている、当時避難された方々へのインタビューの映像は、消防ヘリの音声、画像とラップして、見る者に緊張感を与えます。住民の避難を先導した町会長のお話してから、地域の良好なコミュニティが円滑な避難に不可欠であることを感じた一方で、発災間もない時刻、学校側からの度重なる階上への避難の呼びかけに、なかなか動きが見られなかったという先生の談話から、その時の状況が容易に想像できたのも事実です。

避難所となった教室には、安否確認の文字が黒板に残っており、地域コミュニティの強さが情報の伝達にも役立ったことがうかがわれます。4階の教室には、ひととき大きな地域全体の模型が置かれています。この地域は災害危険区域となり、居住していた方々は、より内陸部

協会からのお知らせ

- ① 今年度の総合防災訓練は、9月初旬に東村山市で実施予定です。担当事務所および協力可能な事務所班はよろしくお願ひします。
- ② 各班からの活動報告を心よりお待ちしております。また自己紹介がお済でない新入会員の皆さまも、ぜひ下記編集担当理事又は林まで原稿をお送りください。

林アドレス(hayashi471@mbr.nifty.jp)

- ③ 協会のH. P(東京都建設防災ボランティア協会掲示板)に、最新の情報、バックナンバー、建設局報などが載っています。ぜひご覧ください。

アドレス(<http://tokyo-adv2.info/>)

編集後記

新年度になってから、創立 25 年誌の編集・発行、総会の開催、本誌の編集と続くなかで、活動の再開を実感しました。そして各行事の報告に加え、各班からの投稿や新会員の紹介も多く、久しぶりの 12 頁構成となりました。ありがとうございます。目標の年間 4 号の発行はクリアできると思いますが、そのためには皆様のご協力が不可欠です。本年度もよろしくお願ひいたします。(M.H)

発行人 山口明

発行 東京都建設防災ボランティア協会

新宿区西新宿 2-7-1

小田急第一生命ビル 20F

(公財)東京都道路整備保全公社内

編集 佐野正生、高橋紀男、西村行正、林幹生



校舎 1 階

地域全体の模型



に集団移転されています。この模型は、震災前の地区の様子を再現したもので、地域の方々の手により、住宅の屋根の色の再現、おいしいケーキ屋さん、犬がいたところ、〇〇さんのお宅などと書かれた小札が無数に立てられ、被災前の膨大な地域情報が凝縮されています。この模型を見て、震災が奪ったものが余りに大きいこと改めて認識すると同時に、復興は記憶とともにあるべきと強く感じました。



模型に立てられた札の数々

何時来るか分からないが、必ず発生する災害に対して、平時からのイメージトレーニングは大いに必要と考えさせられた見学でした。私たちは施設管理者側からの目線で見ることが多くなるわけですが、避難されたり居住されている方との情報伝達の重要さを忘れてはならないと思ったところです。

東部公園班 細岡晃